

2017-2018

# Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

● R.I.会長 / イアン・H.S.ライズリー ● 地区ガバナー / 瀧川 好庸  
 ● 会長 / 大西 淳滋郎 ● 幹事 / 井上 孝明 ● クラブ会報委員長 / 宮本 鹿司夫  
 ● 事務局 / 〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F  
 TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー：  
変化をもたらす

第 2097 号

平成 29 年 9 月 14 日 (木) No 9

## 尚齒例会



★ 会長挨拶



★ 尚齒代表あいさつ  
釜谷 研造会員



★ 木曾 秀行会員 乾杯



★ 竹中 領親睦委員長



★ 松本 浩一会長エレクト



★ 米山奨学生 金 英さん

尚齒をお迎えになられ  
心よりお祝いを申し上げます  
生き生き エネルギッシュ  
好奇心一杯！  
これからもお体を大切に  
どうぞお元気でいらしてください



釜谷研造会員 川西正廣会員 岩佐 清会員  
堀 公行会員 武田正明会員 宇田川隆会員

★ 尚齒のお祝いを受けられた会員の皆様

## 会長の時間

会長 大西 淳滋郎

皆様、こんばんは。本日は尚齒例会となっております。大勢の会員の皆様にご参加頂きまして感謝致します。尚齒という言葉についてご説明致します。

中国の唐の時代、詩人の白楽天が7人の翁を招き管弦・飲食の宴を催し長寿の方々の健康をお祝いしました。その長寿の方を祝って行われた「尚齒之会」に由来します。「尚」は尊ぶ・敬うを意味し、「齒」はよわい（齢）を意味しています。つまり「尚齒」とは「敬老」を意味するものです。また、江戸時代末期には蘭学者の渡辺華山や高野長英を中心に結成されたグループが「尚齒会」を名乗っていました。この会は高齢の隠者・賢者と、それを慕うものが集まり、高齢になっても学問を重ねていこうという会合も行われていました。

近年では、敬老の日に変わりました。敬老の日は多可町八千代区で、昭和22年9月15日に村主催の「としよりの日」として「敬老会」を開催したのが「敬老の日」の始まりです。

これは、当時の門脇村長が「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という趣旨から開いたもので、現在はハッピーマンデーで9月の第3月曜日に変更になっています。

私は日頃から尚齒会員の皆様の若々しいお姿や、その活力ある言動にふれ、果たして皆様に敬老・尚齒という表現が、ふさわしいのだろうか、思わざるを得ません。ところで、9月には尚齒例会もあり敬老の日もございますが、先日9月9日は『重陽の節句』でした。重陽の『陽』は陰陽の陽の数字のことです。奇数を陽の数字としております。その陽の数字・奇数の最大の数字『9』が重なる日で『重陽の節句』と言われております。重陽の陽の字は太陽の陽でもあります。陽という字は、明るく希望に満ち、暖かくますます輝くという文字でもあります。敬老・尚齒という言葉より、むしろこの言葉の方がふさわしいのではないかと考えております。

重陽の節句は、菊を用いて長寿をお祝いする日でした。そこで、この席では大村SAA・竹中親睦委員長に『菊酒』の用意をお願い致しました。重陽の節句は『菊酒』を飲んで長寿をお祝いしたという風習に則り、プラザホテル様にお願いしてもらいました。私流に考えた菊酒ですからお許してください。この後の祝杯に使いたいと思います。

どうか、先輩方にはこれからも太陽のように、輝くまなざしで、益々明るく、力強く、私たちの前を闊歩し、時には背中を押して、加古川中央ロータリークラブのさらなる発展のために、お力添えを頂けますようお願い致します。

本日は誠にめでとうございます。